



Space Japan Review 第 50 号発刊を祝して

Space Japan Review (SJR)の第 50 号発刊に対し AIAA 衛星通信フォーラム (JFSC) に心よりお祝い申し上げます。私は SJR を読み、また SJR に貢献することをいつも楽しみにしてきました。特に衛星経営陣トップに対する優れたインタビュー記事は素晴らしいと思います。

私の長年の同僚であった故バートン・エーデルソン教授は、衛星通信の世界的な恩恵をいつも私に話していました。それで、飯田尚志博士その他の方々に話してから、私は AIAA 通信システム技術委員会(TCCS)に、我々の国際会議(ICSSC: International Communications Satellite Systems Conference) をアメリカ国内でのみ開催してきた習慣を変えるべきだと提案しました。そして、私は我々がアメリカ、アジア太平洋、アメリカ、ヨーロッパの順で毎年開催し 4 年で一巡する開催方法を提案しました。多くの議論の後、AIAA TCCS はこの 4 年で一巡の開催方法を満場一致で支持しました。

JFSC は、日本で開催された最初の ICSSC とそれに続く第 2 回の ICSSC を主催する際の組織母体となったと聞いています。日本で開催した ICSSC は、アジア太平洋地域中で衛星通信への関与を増やすことに特に貢献しました。JFSC は、また、素晴らしい SJR を出版することや衛星専門家のために良いネットワーク・イベントを行うことに貢献しています。

最後に、JFSC、そして、その第 50 号 SJR に対して再度おめでとうを申し上げたいと思います。さらに将来の SJR を読むことを楽しみにしています。

ジョージ・ワシントン大学
ニール・ヘルム (Neil Helm)

(和訳 飯田)